



(左) 全曲ジョシュアのオリジナル曲でまとめた『Sister On the Thing With Ming』(Capri)
 (中) ソロアルバム・モンク作品集『Let's Call This Monk!』(Double Time)
 (右) バド・パウエル作品集『The Music Of Bud Powell』(Double Time)

だよ。

僕は生徒にいう。「スケール(音階)を弾いてみよう」。*パバパバパバパバ*。を弾いてみよう。「じゃあ、今度はもうまく弾けてる。「じゃあ、今度はその音階を歌ってみよう。パタラララララ。」「同じサウンドだと思うか?」「いい、違います!」「もう一度、歌うように、力まないで自然にすべての音を弾いてごらん。

ドッパッパッパとしかブレいしないヤツがいるけどそれは僕の考える音楽ではない。

モンク、パウエル、エルモ・ホープ

——『レップ・コール・ジズ・モンク!』『ミュージック・オブ・バド・パウエル』(Double Time)では、ピアニスのギター・トリオで、ピアニストのオリジナル曲に取り組んでいるのが印象的でした。ジョシュア・バド・パウエルの作曲はインプロヴィゼーションを表現するための土台という感じがするね。とてもすんなりと録音できたよ。だけどモンクの音楽をギターで表現することは大きな冒険だった。彼の曲はハーモニー、メロディが深く結びついている。彼のヴォイシングはたくさんの方が狭い範囲に密集してい

る。それを6本の弦におきかえて、そのうえで新しいことを盛り込むのは難しかった。ここにほどのコードが効果的なのか、考えながら注意深く演奏した。しかし演奏そのものは楽しかった。偉大なるミッキー・ローカーが素晴らしかったからね。彼のドラムスに乗るだけでうまく演奏できた。

僕はいろんなグレイト・ミュージシャンと共演してきた。パリー・ハリス (p)、トニー・フラナガン (p)、ケニー・パロン (p)、ペッパー・アダムス (bs), アル・ヘアウッド (ds) ——彼らが出す音を聴いているだけで、自分が何をプレイすべきなのかわかる。

——大昔に亡くなった人もふくめて、ジャズ・ジャイアンツと共演できるとしたら、誰を選びますか?

ジョシュア・派だってチャーリー・パーカー (sa) やバド・パウエル (p) とは共演したんだろう。アート・テイタム (p) とは——一緒に演奏するなんて空想すらできないよ。みんな彼の前ではおじけつてしまうんじゃかな(笑)。彼はソロ・パフォーマンスが素晴らしいと思う。バド・パウエルのソロ「オブリヴィオン」を聴くと、テイタムを思い出す。

バドはテイタムが大好きだったんだよ。バドがフランスでインクヴェーに答えて、こんなことを言っている。「日曜日になるとアート・テイタムは私を大きな青いキャデラックに乗せてくれた」。それを聞いた人はバドをクレイジーだと言った。テイタムは盲目だし、車を運転しなかったからね。だけど、それはバド一流の詩的(ゴスティック)な表現なんだ。彼はテイタムの音楽が、それだけコンパクトで、狂気で、ドライブする音楽だったと表現しているわけだよ。

——モンク集、パウエル集に続く、ピアノ作品集の予定はありますか?

ジョシュア・ダブルタイムのオナーのジュニー・エバーソルドと話したんだけど、次はエルモ・ホープ集をぜひやってみたいね。だけど悪いことにエルモはその才能に対してあまりにも知名度が低い。だけど僕は彼の作曲が大好きだ。ギターにも合うしね。なんとかやりたいよ。「フリファイ」もいいし、「モーニーズ・オン」も好きだな。メロディはともシンプルだが、ハーモニー的におもしろい。(エルモの妻亡人)パーサー・ホープ (p)には3月に会ったよ。ロニー・ベン・ハー (g)と一緒に、エルモの曲を演奏していたね。ロニーもエルモの大ファンなんだ。

——現在のバンド・メンバーをおしえてください。

ジョシュア ラニー・モーガン (sa)、マコーティア・ドリュー (ds)、ロニー・マシューズ (p) などと演奏することが多いけど、一定のメンバーでグループを維持するのはとても大変だ。それにどの土地にも素晴らしいミュージシャンはいっぱいいるものなんだ。アルパカーキ、ブーソン、



デンバーにもいいメンバーがいる。ツニー・ステイットがサックスを持ってツアーして、その土地のリズム・セクションと演奏していたでしょう。(地元のミュージシャンとやるのは)伝統的なジャズでは当たり前なことだよ。

フランスでレイ・パトルナアーニ (b)とレコーディングをしたことがかりだよ。全曲オリジナルだ。カプリというレーベルから発売されると思う。僕はもっと演奏がしたいし、オリジナルをお披露出したい。日本のミュージシャンともぜひレコーディングしたいね。

(きまて・藤田和典) ■